



読書のまちかわさき

2018年1月発行
川崎市教育委員会

かわさき読書の日のつどい 報告

昨年11月5日、中原市民館にて第15回かわさき読書の日のつどいが行われました。当日は257名の方々の参加があり、読書活動表彰式や優秀作品の展示、石井睦美氏による講演・子どもたちとの交流会などが行われました。

読書活動表彰式では、川崎市立学校から応募のあった読書標語3,167点、読書ポスター99点、本の紹介文2,088点、合計5,354点のうち、各読書作品の優秀賞受賞者29名、学校賞受賞1校が渡邊直美教育長より表彰を受けました。また読書活動優秀団体・個人・学校の表彰も併せて行われましたので、ご紹介させていただきます。



読書活動表彰式



優秀作品の展示コーナー



石井睦美先生と
子どもたちとの交流会

読書活動優秀団体・個人・学校紹介

今年度は、次にご紹介する団体・個人・学校が表彰されました。子どもたちの読書活動の充実のため、様々な工夫ある取組をしていただき、ありがとうございました。



- 幸町小学校図書ボランティア おはなしの森
- 東小倉小学校 ブックボランティア
- 下作延小学校
- 西有馬小学校
西有馬小学校図書ボランティア
- いぬくら子ども文庫
- 熊谷 裕紀子さん

平成29年度第2回全市図書ボランティア研修会 ～「絵本や物語から始めるサイエンス入門」～

1月16日、中原市民館にて第2回全市図書ボランティア研修会が行われました。今回は国立科学博物館標本資料センター・センター長、分子生物多様性研究資料標本センター・センター長としてご活躍されている真鍋真氏を講師にお迎えし、「絵本や物語から始めるサイエンス入門」というテーマでご講演いただきました。



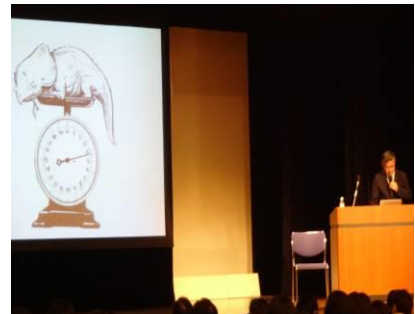
当日は220名に上る多数の参加者があり、真鍋先生によるクイズや絵本の読み聞かせ、コーナーあふれるお話を通して、子どもたちの科学に関する本の興味・関心を高めるための数々のヒントをいただきました。真鍋先生からは、「興味の薄い子に興味を持ってもらうためには、本や博物館などいろいろな入口を作ってあげるとよい」というお話もいただきました。また、講演の最後には、真鍋先生が参加者に本物の化石を見せてくださり、参加者は実際にその化石に触れ、恐竜時代に思いを馳せるといった一幕もありました。



クイズで恐竜の世界へ



進化の様子を分かりやすく紹介



絵本の読み聞かせ

<参加者の感想より>

- 本の紹介をしながら恐竜のお話を聞かせていただき、とても楽しかったです。私も読み聞かせでこのように楽しく子どもたちと時間を過ごせたらと思います。子どもの興味をひくにははじめから直球ではなく違うところからというお話も参考になりました。
- 苦手な分野でしたが、とてもわかりやすく、興味深く話を伺うことができました。貸出担当ボランティアとして、読み聞かせの方への紹介や子どもたちへはポップなどで、クイズを楽しみ、本を探すべききっかけにつながられたらと思います。
- 絵本を通じて、文学と科学両方が自然と身につく内容はとても興味深かったです。読み聞かせで選ぶ本は物語に偏りがちですが、科学読み物にもチャレンジしてみようと思います。